

広野町図書室 おすすめ本のご案内

『そのまま使える 短いスピーチ実例集 1200』

成美堂出版編集部：編

ちょっとしたスピーチを頼まれて困ってしまった事はありませんか？

そんな時にお勧めしたいこの1冊…と、テレビショッピングのようなノリになってしまいましたが、本のタイトルどおり掲載されているスピーチの数は1200例です。

職場、学校、冠婚葬祭、地域のイベントなど、さまざまな場面に適した例文がとても参考になります。あとは自分の状況に合わせて文章を入れ替えればスピーチ原稿が完成します。時間や姿勢を意識して音読すれば安心して本番を迎えられると思います。

この本のほかに「上手な話し方が身につくスキル」「挨拶スピーチ実例事典」「上司・恩師の3分間スピーチ」「結婚式の短いスピーチ」があります。併せてご利用ください。

『聞き書 ふるさとの家庭料理 第11巻 春のおかず』

農山漁村文化協会：編

日本各地に伝わる、春の素材を十分に生かした和のおかずを紹介しています。

1品1ページで、完成写真の他には簡単に材料と作り方が掲載されているだけなので、料理初心者の方にはちょっと厳しいかもしれません。

逆にベテランの方には強い味方になりそうです。本書1冊あれば、夏まで料理のメニューに困ることはないだろうと思うほど内容が豊富です。

旬のものをいただくことは、食育の観点からもよいことだと思います。小さいお子様を持つお母さん、ぜひチャレンジしてみてください。



『こぎつねキッペのはるのうた』

今村 葦子

ひなた山に春が来ました。子どもの動物たちは、ハチミツの歌「ブン！ブン！ブン！」を歌いながら、ピョンピョン飛び跳ねていました。ハチミツの歌は、春の歌です。

転がるこぐまの上にごぎつねキッペは、玉乗りのように乗って遊んでいました。ところが、その先は恐ろしいがけです。なんとかこぐまを止めないと…

「ブン！ブン！ブン！」がテンポよく、かわいい動物たちが、遊びを通してちょっぴり成長する様が微笑ましく思いました。幼児から小学生低学年向けの本です。

『星ものがたり』

林 完次

しし座やうみへび座がなぜ星座になったのか？人の言葉が話せるからすがうそをついた見せしめに星座になってしまった話や、北斗七星が消えてしまった話など。春の星や星座にまつわる世界各地の星ものがたり（神話・伝説）です。

広野町は澄んだ星空が見られます。この本を読み終えてから、星空をゆったりながめてみてください。古代ギリシャの神々に想いを馳せるのもいいかもしれません。

6月の読み聞かせのご案内

☆6月4日(金) 午前10時30分から
児童図書室にて開催します。



5月の休室日のご案内

11日(火) 18日(火) 25日(火)

■お問い合わせ先 広野町図書室 ☎ 27-3211

アリアンの英語 ワンポイント会

May 5月

英語指導助手のアリアンさんは広野
在住で、小中学生の英語指導や公民館
での英語教室を行っています。



May is the month of one of my favorite holidays.

5月は私の好きな祝日の1つがある月です！

On May 25th, some people celebrate "Towel Day". This is because a very famous science fiction writer, Douglas Adams, died in May. He wrote a book called The Hitchhiker's Guide to the Galaxy. In it, he talks about how a space traveler should always have a towel, because they are very useful and can even save your life.

5月25日、その日を「タオルデー」として祝う人がいます。なぜかというダグラス・アダムスという超有名なSF作家が5月に亡くなったためです。彼は「ヒッチハイカーガイド銀河へ」（邦題は違うタイトルかもしれませんが）という本を執筆しました。その物語で彼はタオルがとても役立つ、自分の命さえも救うことができるため、どのようにしてタオルをいつも身につけるべきかを説いています。

It is not a real holiday. It is just a weird tradition for people who like science fiction. On May 25th, they take a towel with them to show how much they like Douglas Adams and his books. Look for me with my towel!

「タオルデー」は実際にある祝日ではありません。それはSF好きのちょっとヘンテコな伝統みたいなものなのです。5月25日にそのヘンテコな伝統を守る人たちは、どれだけ自分がダグラス・アダムスと彼の本が好きかを見せつけるため、タオルを持って町にでかけるのです。タオルをまとった私を探してね！

広野町文芸欄

広野町卯月句会

行々子先生 選

季題 当季雑詠

春うららバージンロードの父の顔
読みさしの古典しつとり春の雪
還暦の六十本のぼらの花
宮下 純子

掃き立てて未来の輝る蚕かな
山笑ふ散歩コースを変へにけり
芝桜不思議なものに人の縁
暁 月

笹鳴きの声に目覚めて夢うつつ
満開の梅を覆ひて春の雪
待ちわぶる片栗ひとつ咲きにけり
弥 生

独り登つ進学の子の荷をまどむ
山の背にただ一本の山桜
登校班新入生をまん中に
遠藤 智

鶯や三溪園の池光る
ギター弾く指軽やかに春の昼
春の風駅舎の赤き瓦かな
西山子

欄干の下つくしの背くらべ
合格を知らせて弾む電話の声
つくづく明日は仕舞ふ雛の段
悟 峯

手拍子を誘ふほろ酔ひ花筵
遠目にも隊列しかと鳥帰る
春の雨転居する子の気にかかる
木幡 綾子

鉢梅の古木の姿琴の曲
卒業の子らそれぞれに美しき
夜桜を忘れよさこい踊りの手
吉田 幸子

泣き顔と笑顔の交差卒業す
後継の覚悟を決めて芋を蒔く
大空の何処のあたり揚雲雀
塩 史子

初音の日十年日記に印しけり
囁りに開くるカーテン雨上る
土ぐもり日本全土を覆ひけり
遠藤健太郎